

結 果 の 概 要

I 世帯の状況

1 父母及び保護者の状況

(1) 父母の有無・同別居別にみた世帯の状況

父母の有無・同別居別にみた世帯の状況について、それぞれ世帯数の構成割合をみると、「父母ともいる」世帯は90.1%（前回（平成21年12月1日調査、以下同じ。）88.9%）で「父母とも同居」している世帯は86.5%（前回84.2%）、「母がいない」世帯は1.1%（前回1.8%）で「父同居」の世帯は1.0%（前回1.7%）、「父がいない」世帯は8.7%（前回9.2%）で「母同居」の世帯は8.6%（前回8.9%）、「父母ともいない」世帯は0.2%（前回0.1%）となっている。

また、それぞれ児童数の構成割合をみると、「父母ともいる」世帯は90.9%（前回90.9%）、「母がいない」世帯は0.7%（前回1.5%）、「父がいない」世帯は8.3%（前回7.5%）、「父母ともいない」世帯は0.1%（前回0.0%）となっている。

なお、1世帯当たり平均児童数をみると、1.72人（前回1.72人）で、これを父母の有無別にみると、「父母ともいる」世帯は1.73人（前回1.76人）、「母がいない」世帯は1.15人（前回1.46人）、「父がいない」世帯は1.64人（前回1.41人）、「父母ともいない」世帯は1.00人（前回1.00人）となっている。（表1）

表1 父母の有無・同別居別にみた世帯の状況

父母の有無・同別居	平成16年			平成21年			平成26年		
	世帯数の構成割合 (%)	児童数の構成割合 (%)	1世帯当たり平均児童数 (人)	世帯数の構成割合 (%)	児童数の構成割合 (%)	1世帯当たり平均児童数 (人)	世帯数及び構成割合	児童数及び構成割合	1世帯当たり平均児童数 (人)
総 数	100.0	100.0	1.77	100.0	100.0	1.72	1,237(世帯) (100.0%)	2,124(人) (100.0%)	1.72
父母ともいる	91.6	92.6	1.79	88.9	90.9	1.76	1,114 (90.1)	1,930 (90.9)	1.73
父母とも同居	88.2	89.5	1.80	84.2	86.4	1.77	1,070 (86.5)	1,856 (87.4)	1.73
父同居・母別居	0.7	0.6	1.50	0.2	0.2	2.00	6 (0.5)	8 (0.4)	1.33
父別居・母同居	2.7	2.4	1.59	4.4	4.2	1.63	38 (3.1)	66 (3.1)	1.74
父母とも別居	—	—	—	0.2	0.2	1.67	—	—	—
母がいない	1.2	1.2	1.71	1.8	1.5	1.46	13 (1.1)	15 (0.7)	1.15
父同居	1.2	1.2	1.71	1.7	1.4	1.48	12 (1.0)	14 (0.7)	1.17
父別居	—	—	—	0.1	0.0	1.00	1 (0.1)	1 (0.0)	1.00
父がいない	6.9	6.0	1.55	9.2	7.5	1.41	108 (8.7)	177 (8.3)	1.64
母同居	6.8	6.0	1.55	8.9	7.3	1.40	107 (8.6)	174 (8.2)	1.63
母別居	0.1	0.0	1.00	0.3	0.3	1.50	1 (0.1)	3 (0.1)	3.00
父母ともいない	0.1	0.1	1.00	0.1	0.0	1.00	2 (0.2)	2 (0.1)	1.00

注) 「総数」には「不詳」を含む。

(2) 保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況

保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況をみると、児童の保護者は、「父母」が99.4%、「祖父母」が0.6%、「その他」が0.1%となっており、保護者のほとんどが「父母」である。また、保護者の年齢をみると、「40～44歳」が25.9%（前回24.3%）と最も多く、次いで「35～39歳」の21.3%（前回22.4%）、「45～49歳」の20.5%（前回19.1%）、「30～34歳」の11.2%（前回13.2%）などの順になっており、平均年齢は42.2歳（前回41.7歳）となっている。（表2）

表2 保護者の種類・年齢階級別にみた世帯の状況

保護者の年齢階級	平成16年	平成21年	平成26年			
	総数	総数	総数	父 母	祖 父 母	そ の 他
総 数	(%) 100.0	(%) 100.0	(世帯) 1,237 (100.0%) (100.0%)	(世帯) 1,229 (99.4%) (100.0%)	(世帯) 7 (0.6%) (100.0%)	(世帯) 1 (0.1%) (100.0%)
30歳未満	6.3	4.6	50 (4.0)	50 (4.1)	—	—
30～34歳	13.7	13.2	138 (11.2)	138 (11.2)	—	—
35～39歳	21.5	22.4	264 (21.3)	264 (21.5)	—	—
40～44歳	23.8	24.3	320 (25.9)	320 (26.0)	—	—
45～49歳	19.0	19.1	254 (20.5)	253 (20.6)	1 (14.3)	—
50～54歳	10.8	10.3	129 (10.4)	129 (10.5)	—	—
55～59歳	3.3	4.0	50 (4.0)	49 (4.0)	—	1 (100.0)
60歳以上	0.4	1.2	17 (1.4)	12 (1.0)	5 (71.4)	—
不 詳	1.1	0.9	15 (1.2)	14 (1.1)	1 (14.3)	—
平均年齢(歳)	41.8	41.7	42.2	42.0	65.8	55.0

注) 保護者の「おじ・おば」「18歳以上の兄・姉」は客体がないため計上していない。

(3) 「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況

「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況をみると、父の97.8%（前回97.6%）、母の66.6%（前回56.3%）が就労しており、いわゆる「共働き」世帯（「父母とも就労している世帯」、以下同じ。）は65.6%（前回55.3%）、「片働き」世帯（「父又は母が就労している世帯」、以下同じ。）は33.2%（前回43.3%）となっている。

また、「共働き」世帯における児童数の構成割合は65.3%、1世帯当たりの平均児童数は1.73人（前回1.78人）となっている。（表3）

表3 「父母とも同居」している世帯の父母の就労状況別にみた世帯の状況

父 母 の 就 労 状 況	平成16年	平成21年	平成26年		
	世帯数の構成割合	世帯数の構成割合	世帯数及び構成割合	児童数及び構成割合	1世帯当たりの平均児童数
総数	(%) 100.0	(%) 100.0	(世帯) 1,070 (100.0%)	(人) 1,856 (100.0%)	(人) 1.73(1.77)
父母とも就労している (共働き)	54.3	55.3	702 (65.6)	1,212 (65.3)	1.73(1.78)
父が就労している } (片働き)	43.6	42.3	345 (32.2)	608 (32.8)	1.76(1.77)
母が就労している }	0.7	1.0	11 (1.0)	16 (0.9)	1.45(1.25)
父母は就労していない	0.2	0.6	4 (0.4)	6 (0.3)	1.50(1.29)
不詳	1.2	0.8	8 (0.7)	14 (0.8)	1.75(—)

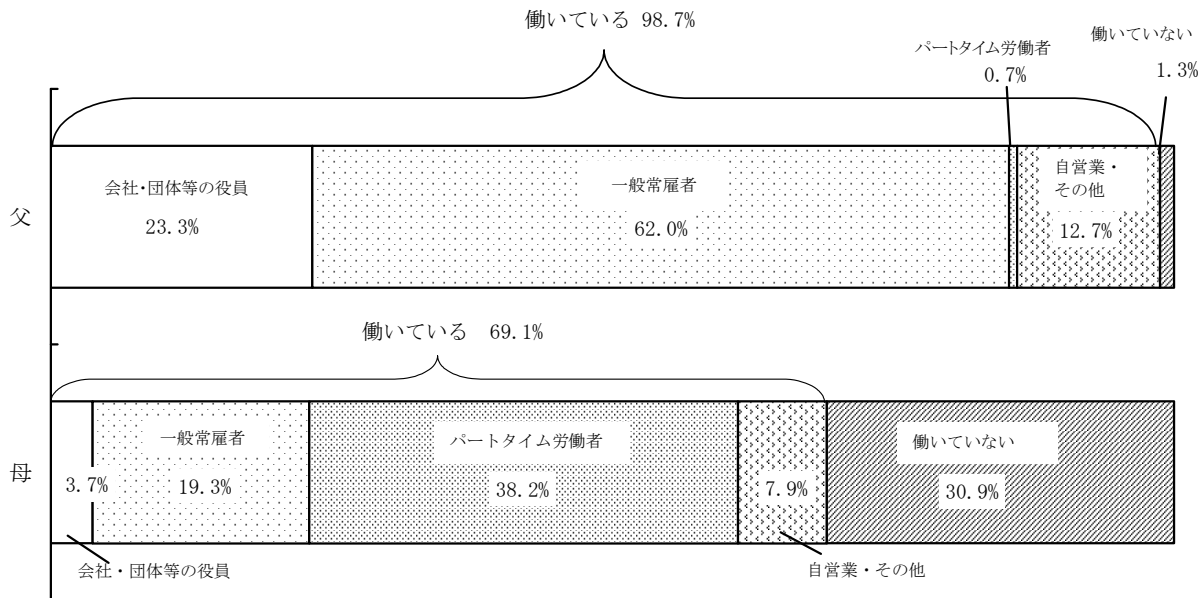
注) 1. 「就労している(働いている)」とは、「会社・団体等の役員」、「一般常雇者」、「パートタイム労働者」、「自営業・その他」のこと。

2. 「1世帯当たりの平均児童数」の括弧内の数値は、前回調査(平成21年)の数値である。

(4) 父母の仕事の種類

父母の仕事の種類をみると、父の98.7%、母の69.1%が就労しており、父では「会社・団体等の役員」23.3%、「一般常雇者」62.0%、「パートタイム労働者」0.7%、「自営業・その他」12.7%、「働いていない」1.3%となっており、母では「会社・団体等の役員」3.7%、「一般常雇者」19.3%、「パートタイム労働者」38.2%、「自営業・その他」7.9%、「働いていない」30.9%となっている。(図1)

図1 父母の仕事の種類



- 注) 1. 「自営業・その他」とは、個人経営の商店主・工場主・農業主などの事業主や開業医・弁護士などのこと。
2. 「パートタイム労働者」は、前回の平成21年調査では「1年未満の契約の雇用者」として調査しており、定義が異なるため比較できない。

2 その他の状況

(1) 父母の仕事からの帰宅時間の状況

父母の仕事からの帰宅時間の状況をみると、父では「7時前」が19.0%（前回17.5%）と最も多く、次いで「8時前」18.8%（前回17.5%）となっており、母では「6時前」が26.9%（前回20.8%）と最も多く、次いで、「7時前」が12.3%（前回9.4%）となっている。（表4）

表4 父母の仕事からの帰宅時間の状況

	総数	仕事あり											仕事なし	不詳	
		午後2時前	4時前	6時前	7時前	8時前	9時前	10時前	0時前	0時後	洗まっていない				
平成21年	父	100.0%	97.5	0.5	0.7	11.6	17.5	17.5	14.9	11.9	7.6	2.7	12.7	1.6	0.9
	母	100.0%	58.5	5.7	9.4	20.8	9.4	4.2	1.6	0.7	0.5	0.4	5.8	40.3	1.1
平成26年	父	1,088(人) (100.0%)	1,062 (97.6)	6 (0.6)	4 (0.4)	101 (9.3)	207 (19.0)	205 (18.8)	149 (13.7)	134 (12.3)	92 (8.5)	32 (2.9)	132 (12.1)	14 (1.3)	12 (1.1)
	母	1,215(人) (100.0%)	828 (68.1)	77 (6.3)	139 (11.4)	327 (26.9)	149 (12.3)	46 (3.8)	12 (1.0)	4 (0.3)	3 (0.2)	6 (0.5)	65 (5.3)	374 (30.8)	13 (1.1)

注) 「総数」からは、子どもと同居していない父、母は除く。

(2) 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数

一週間のうち、家族そろって一緒に朝食を食べる日数は、「ほとんどない」が33.3%（前回32.0%）と最も多く、次いで「毎日」が23.8%（前回25.8%）、「2～3日」が21.0%（前回21.4%）となっている。

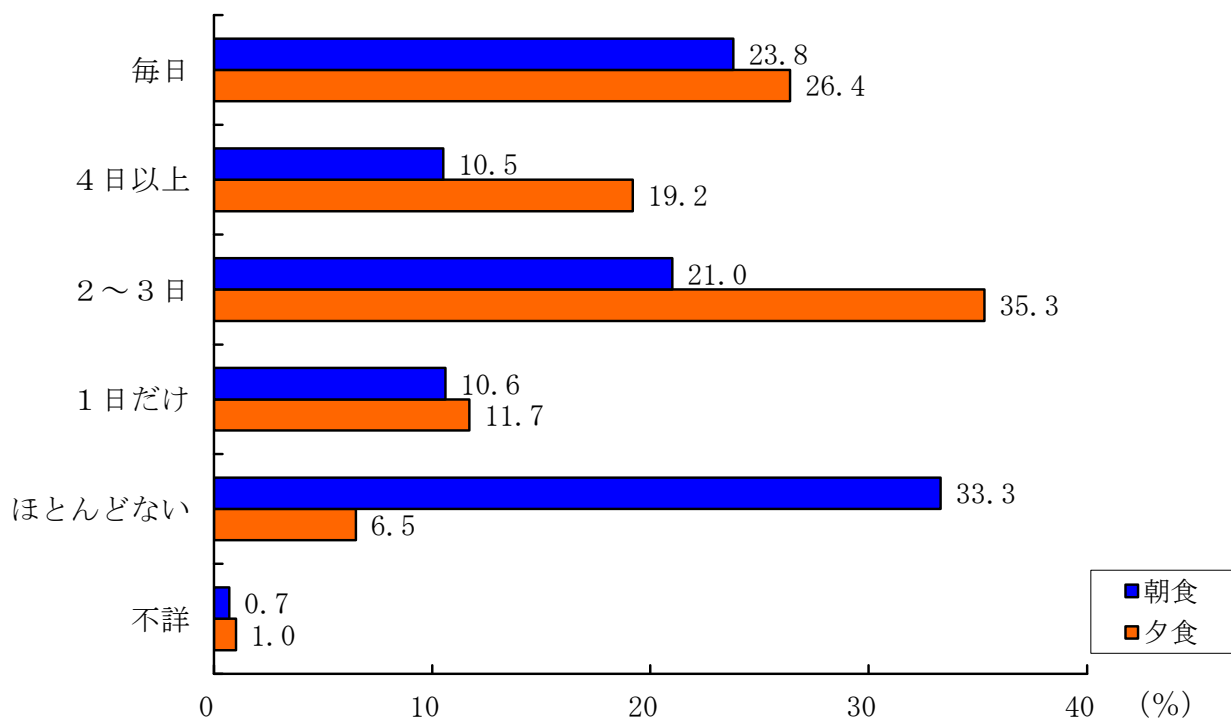
また、一週間のうち、家族そろって一緒に夕食を食べる日数は、「2～3日」が35.3%（前回36.2%）と最も多く、次いで「毎日」が26.4%（前回26.2%）、「4日以上」が19.2%（前回18.6%）となっている。

なお、朝食と夕食を比較してみると、夕食のほうが、家族そろって一緒に食べる日数の割合が多くなっている。（表5及び図2）

表5 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数

食事（朝食及び夕食）		総数	毎日	4日以上	2～3日	1日だけ	ほとんどない	不詳
平成21年	朝食	100.0%	25.8	9.2	21.4	10.2	32.0	1.5
	夕食	100.0%	26.2	18.6	36.2	10.1	7.0	1.9
平成26年	朝食	1,237(世帯) (100.0%)	295 (23.8)	130 (10.5)	260 (21.0)	131 (10.6)	412 (33.3)	9 (0.7)
	夕食	1,237(世帯) (100.0%)	326 (26.4)	237 (19.2)	437 (35.3)	145 (11.7)	80 (6.5)	12 (1.0)

図2 一週間のうち、家族そろって一緒に食事（朝食及び夕食）をする日数（平成26年）



(3) 父母の仕事の種類別にみた子どもたちとの会話時間（1週間当たり）

父母の仕事の種類別に子どもたちとの会話時間（1週間当たり）をみると、「就労している」父では「0～4時間」が32.0%と最も多くなっており、「会社・団体等の役員」では33.1%、「一般常雇者」では31.0%、「自営業・その他」では34.3%となっている。
 「就労している」母では、「5～9時間」が18.3%と最も多くなっており、「就労していない」母では、「70時間以上」が16.8%と最も多くなっている。（表6）

表6 父母の仕事の種類別にみた子どもたちとの会話時間（1週間当たり）

会話時間	平成21年	平成26年						
		総数	就労している	会社・団体等の役員	一般常雇者	パートタイム労働者	自営業・その他	就労していない
父 総数	100.0%	1,078 (人) (100.0%)	1,064 (人) (100.0%)	248 (人) (100.0%)	671 (人) (100.0%)	8 (人) (100.0%)	137 (人) (100.0%)	14 (人) (100.0%)
0～4時間	31.8	344 (31.9)	341 (32.0)	82 (33.1)	208 (31.0)	4 (50.0)	47 (34.3)	3 (21.4)
5～9時間	18.7	209 (19.4)	205 (19.3)	49 (19.8)	129 (19.2)	—	27 (19.7)	4 (28.6)
10～14時間	14.9	184 (17.1)	182 (17.1)	35 (14.1)	122 (18.2)	1 (12.5)	24 (17.5)	2 (14.3)
15～19時間	5.6	62 (5.8)	59 (5.5)	17 (6.9)	34 (5.1)	1 (12.5)	7 (5.1)	3 (21.4)
20～29時間	15.6	146 (13.5)	145 (13.6)	33 (13.3)	92 (13.7)	1 (12.5)	19 (13.9)	1 (7.1)
30～39時間	5.4	62 (5.8)	62 (5.8)	10 (4.0)	42 (6.3)	—	10 (7.3)	—
40～49時間	2.7	22 (2.0)	21 (2.0)	6 (2.4)	15 (2.2)	—	—	1 (7.1)
50～59時間	0.7	5 (0.5)	5 (0.5)	2 (0.8)	3 (0.4)	—	—	—
60～69時間	0.3	4 (0.4)	4 (0.4)	—	3 (0.4)	—	1 (0.7)	—
70時間以上	0.1	3 (0.3)	3 (0.3)	1 (0.4)	2 (0.3)	—	—	—
不詳	4.3	37 (3.4)	37 (3.5)	13 (5.2)	21 (3.1)	1 (12.5)	2 (1.5)	—
母 総数	100.0%	1,206 (人) (100.0%)	832 (人) (100.0%)	44 (人) (100.0%)	231 (人) (100.0%)	462 (人) (100.0%)	95 (人) (100.0%)	374 (人) (100.0%)
0～4時間	11.7	119 (9.9)	96 (11.5)	8 (18.2)	31 (13.4)	47 (10.2)	10 (10.5)	23 (6.1)
5～9時間	13.5	188 (15.6)	152 (18.3)	11 (25.0)	36 (15.6)	85 (18.4)	20 (21.1)	36 (9.6)
10～14時間	15.2	172 (14.3)	136 (16.3)	5 (11.4)	38 (16.5)	81 (17.5)	12 (12.6)	36 (9.6)
15～19時間	4.9	71 (5.9)	55 (6.6)	4 (9.1)	13 (5.6)	32 (6.9)	6 (6.3)	16 (4.3)
20～29時間	16.5	198 (16.4)	145 (17.4)	6 (13.6)	49 (21.2)	67 (14.5)	23 (24.2)	53 (14.2)
30～39時間	10.1	123 (10.2)	86 (10.3)	6 (13.6)	20 (8.7)	50 (10.8)	10 (10.5)	37 (9.9)
40～49時間	8.2	98 (8.1)	60 (7.2)	3 (6.8)	20 (8.7)	34 (7.4)	3 (3.2)	38 (10.2)
50～59時間	6.3	79 (6.6)	49 (5.9)	1 (2.3)	12 (5.2)	32 (6.9)	4 (4.2)	30 (8.0)
60～69時間	3.4	47 (3.9)	22 (2.6)	—	3 (1.3)	16 (3.5)	3 (3.2)	25 (6.7)
70時間以上	7.1	74 (6.1)	11 (1.3)	—	4 (1.7)	4 (0.9)	3 (3.2)	63 (16.8)
不詳	3.1	37 (3.1)	20 (2.4)	—	5 (2.2)	14 (3.0)	1 (1.1)	17 (4.5)

- 注) 1. 「総数」からは、「父または母のどちらかが別居している」場合及び父母とも就労状況が「不詳」のものを除く。
 2. 子どもが複数いる場合は、全ての子どもたちとの会話時間の合計である。
 3. 「パートタイム労働者」については、平成21年調査以前は「1年未満の契約の雇用者」として集計している。

(4) 子どもたちとよく一緒にすること

子どもたちとよく一緒にすることをみると、「デパートやスーパーなどへ買い物に行く」が88.0%（前回86.6%）と最も多く、「テレビを見て、話し合ったりする」が79.0%（前回78.7%）、「外へ出て、食事をする」が68.5%（前回59.8%）となっている。

男女別にみると、男子では「散歩やボール遊びなどをする」51.6%（女子45.8%）、「旅行やハイキング、魚つりなどに出かける」37.3%（女子32.7%）などが女子に比べて多くなっており、女子では「音楽を聞いたり、演奏や合唱・カラオケをする」39.8%（男子32.0%）、「ケーキ作りや料理をする」47.0%（男子37.4%）などが男子に比べて多くなっている。

小学6年生までの学年別にみると、各学年とも「デパートやスーパーなどへ買い物に行く」の割合が多くなっている。（表7）

表7 子どもたちとよく一緒にすることの構成割合（複数回答）

（単位：％）

一緒にすること	平成 21年	平成26年								
		総数	男	女	未就学	小学校 1～3 年生	小学校 4～6 年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
外へ出て、食事をする	59.8	68.5	67.7	69.4	69.7	71.3	70.7	70.5	59.1	62.5
一緒にのスポーツクラブ に入るなど計画的に スポーツを一緒にする	13.7	13.4	15.2	11.6	10.8	16.4	19.4	13.1	8.2	12.5
散歩やボール遊び などをする	48.0	48.8	51.6	45.8	78.5	57.3	42.5	23.7	14.8	25.0
旅行やハイキング 魚つりなどに出かける	35.2	35.1	37.3	32.7	32.9	40.9	43.3	33.4	23.4	12.5
映画や観劇、音楽会 へ行く	30.7	32.8	30.3	35.4	23.3	42.1	40.9	35.6	29.2	50.0
デパートやスーパーなどへ 買い物に行く	86.6	88.0	85.2	91.0	94.4	92.1	89.4	82.3	74.2	87.5
室内でゲームや こっこ遊びをする	54.5	53.8	55.4	52.1	80.6	63.5	52.8	28.1	17.5	12.5
音楽を聞いたり、演奏や 合唱・カラオケをする	34.7	35.8	32.0	39.8	44.1	32.5	34.2	32.0	26.1	37.5
ケーキ作りや料理をする	43.1	42.1	37.4	47.0	41.3	47.7	47.4	41.6	32.6	12.5
絵を描いたり、 物をつくったり編み物 などをする	30.8	34.7	33.5	36.0	60.7	38.9	26.9	14.5	7.9	12.5
お話を聞かせたり、 本を読んでその感想を 話し合ったりする	39.2	40.5	41.3	39.7	72.7	45.9	29.5	15.5	8.9	12.5
勉強をみてやる	55.9	54.3	54.5	54.2	48.8	86.0	69.9	45.3	27.5	50.0
テレビを見て、 話し合ったりする	78.7	79.0	78.9	79.0	72.1	80.1	82.6	84.0	82.5	87.5
家族会議を開いて、 話し合う	18.7	17.8	17.5	18.1	14.2	18.4	22.5	20.6	14.8	25.0
家業の手伝いをさせ、 一緒に仕事をする	49.2	44.1	44.9	43.2	41.6	49.4	51.8	42.9	36.8	37.5
子どもと一緒に地域のお 祭りや行事に参加する	・	57.8	59.5	56.1	65.1	74.6	66.3	46.7	27.8	50.0
その他	3.7	3.3	3.5	3.1	2.6	3.8	3.6	3.6	2.7	12.5
特に一緒にする ことはない	5.7	4.4	4.8	4.0	1.1	1.5	2.6	6.8	15.5	12.5
不詳	2.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 「子どもと一緒に地域のお祭りや行事に参加する」は平成26年度調査より新たに調査した項目である。

(5) 子育てについての不安や悩み

子育てについての不安や悩みの状況をみると、「子どもの勉強や進学に関すること」が51.3%（前回56.5%）と最も多く、「子どものしつけに関すること」48.2%（前回53.4%）、「子どもの性格や癖に関すること」43.6%（前回44.5%）となっている。（表8）

表8 子育てについての不安や悩みの種類の構成割合（複数回答）

（単位：％）

不安や悩みの種類	平成21年	平成26年								
		総数	男	女	未就学	小学校1～3年生	小学校4～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子どものしつけに関すること	53.4	48.2	50.3	46.0	57.6	50.6	47.7	42.4	33.3	62.5
子どもの健康に関すること	33.5	28.7	29.5	27.9	35.1	26.3	29.0	25.9	21.3	37.5
子どもの勉強や進学に関すること	56.5	51.3	52.7	49.9	31.7	43.6	57.8	77.0	62.9	62.5
子どもの就職に関すること	22.1	18.5	20.3	16.5	8.5	13.7	16.8	26.2	37.8	75.0
子どもの性格や癖に関すること	44.5	43.6	42.9	44.3	52.0	48.5	46.1	37.3	24.1	50.0
子どもの暴力や非行に関すること	6.5	4.2	5.4	2.9	4.6	3.8	4.7	4.4	2.1	37.5
子どものいじめに関すること	14.2	13.0	13.4	12.7	13.4	14.6	14.8	13.1	7.2	25.0
子どもの友人に関すること	21.5	18.5	18.3	18.7	13.4	21.1	23.1	21.5	16.5	25.0
子どもの性に関すること	7.9	8.0	8.1	7.9	5.8	5.8	11.9	9.0	8.9	25.0
子どもが保育所や幼稚園、学校に行くのを嫌がること	6.9	5.9	6.6	5.2	5.8	5.8	5.4	8.0	4.5	25.0
子どもの育て方について、自信が持てないこと	21.4	21.1	22.6	19.4	25.8	21.3	21.2	16.5	15.8	50.0
子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと	10.0	7.3	7.4	7.2	7.2	5.8	9.1	7.3	6.5	12.5
子どもの教育に関する費用のこと	・	39.2	39.5	38.9	35.1	31.3	41.7	46.0	46.7	25.0
家の近所の環境がよくないこと	5.3	7.3	7.1	7.4	7.3	7.6	8.8	7.0	5.2	12.5
その他	1.2	0.9	1.0	0.8	0.5	0.9	1.0	1.5	0.3	12.5
特に不安や悩みはない	5.9	20.4	20.3	20.5	20.0	24.0	21.2	14.3	22.0	12.5

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 「子どもの教育に関する費用のこと」は、平成26年度調査より新たに調査した項目である。

(6) 子育てについての不安や悩みの相談相手

不安や悩みを持っていると回答した者に、不安や悩みの種類ごとにその相談相手について尋ねた。

不安や悩みの種類として多く見られた「子どものしつけに関すること」、「子どもの勉強や進学に関すること」、「子どもの性格や癖に関すること」では、「家族の者に相談する」、「信頼できる身近な人に相談する」、「インターネットの子育てサイトなどに相談する」が多くになっている。

なお、「子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと」を除いては、「家族の者に相談する」が、最も多くなっている。(表9)

表9 子育てについての不安や悩みの種類別の相談相手の構成割合(相談相手は3つまで回答)

(単位：%)

(平成26年)

不安や悩みの種類	総数	専門家や公的機関に相談する(電話も含む)	保育園や幼稚園、学校の先生などに相談する	信頼できる身近な人に相談する	インターネットの子育てサイトなどに相談する	家族の者に相談する	子どもと話し合う	自分で考えて解決する	その他	相談相手はいない	不詳
子どものしつけに関すること	100.0	6.3	23.2	52.1	6.9	75.4	21.0	16.5	3.0	2.5	—
子どもの健康に関すること	100.0	41.5	12.7	34.3	8.4	54.5	13.0	13.0	4.9	2.9	—
子どもの勉強や進学に関すること	100.0	7.5	31.2	37.5	3.1	64.1	41.6	10.4	1.9	3.1	—
子どもの就職に関すること	100.0	7.9	19.2	30.1	5.2	58.5	44.1	9.2	2.6	6.1	—
子どもの性格や癖に関すること	100.0	9.5	24.3	45.3	4.0	71.4	30.0	11.1	2.4	3.0	—
子どもの暴力や非行に関すること	100.0	15.4	28.8	25.0	3.8	59.6	34.6	9.6	1.9	9.6	—
子どものいじめに関すること	100.0	9.2	44.4	38.6	2.6	62.7	34.0	9.8	1.3	5.2	—
子どもの友人に関すること	100.0	4.7	29.4	43.9	1.9	59.8	41.1	10.7	1.9	5.1	—
子どもの性に関すること	100.0	7.9	9.0	39.3	6.7	61.8	22.5	13.5	3.4	10.1	—
子どもが保育所や幼稚園、学校に行くのを嫌がること	100.0	12.0	53.3	34.7	8.0	54.7	37.3	9.3	1.3	6.7	—
子どもの育て方について、自信が持てないこと	100.0	5.6	16.1	54.8	6.0	67.3	6.9	18.1	2.4	5.6	—
子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと	100.0	6.0	13.1	54.8	1.2	33.3	4.8	29.8	4.8	9.5	—
子どもの教育に関する費用のこと	100.0	6.0	4.8	25.7	3.9	73.7	6.9	18.1	3.9	7.6	—
家の近所の環境がよくないこと	100.0	9.2	10.3	41.4	3.4	49.4	10.3	14.9	6.9	19.5	—
その他	100.0	25.0	25.0	33.3	8.3	33.3	16.7	8.3	8.3	16.7	—

(7) 公的機関等の利用状況

公的機関等の利用状況をみると、「利用したことがある」世帯は49.3%（前回50.2%）、「利用したことはない」世帯は50.7%（前回49.8%）となっている。

さらに、利用機関等を種類別にみると、「母子健康センターまたは市町村保健センター」が32.4%（前回31.0%）と最も多く、次いで「つどいの広場や子育て支援センターなど」が24.2%（前回17.6%）、「保健所」の17.6%（前回29.7%）、「保育所」の7.0%（前回6.4%）の順になっている。（表10）

表10 公的機関等の利用状況（複数回答）

（平成26年）

父母の同別居	総数	利用したことがある	児童相談所	福祉事務所・市町村の児童相談窓口	児童委員	保健所（精神保健に関する相談・3歳児健診等）	母子健康センター又は市町村保健センター（母親または両親学級等・1歳6ヵ月健診等）	保育所（子育て相談等で利用した場合で、子どもをあずけるだけの利用は含まない）	つどいの広場や子育て支援センターなど	その他	利用したことはない
平成16年	100.0(%)	53.1	4.0	3.2	0.3	35.2	36.5	5.2	・	3.0	46.9
平成21年	100.0(%)	50.2	3.3	5.3	0.5	29.7	31.0	6.4	17.6	2.0	49.8
平成26年	(世帯)										
総数	1,237 (100.0%)	610 (49.3)	46 (3.7)	58 (4.7)	6 (0.5)	218 (17.6)	401 (32.4)	86 (7.0)	299 (24.2)	33 (2.7)	627 (50.7)
父母とも同居	1,070 (100.0%)	543 (50.7)	29 (2.7)	43 (4.0)	4 (0.4)	198 (18.5)	371 (34.7)	76 (7.1)	282 (26.4)	26 (2.4)	527 (49.3)
父のみ同居	18 (100.0%)	6 (33.3)	3 (16.7)	2 (11.1)	—	3 (16.7)	2 (11.1)	—	1 (5.6)	—	12 (66.7)
母のみ同居	145 (100.0%)	60 (41.4)	13 (9.0)	13 (9.0)	2 (1.4)	17 (11.7)	28 (19.3)	10 (6.9)	15 (10.3)	7 (4.8)	85 (58.6)
その他	4 (100.0%)	1 (25.0)	1 (25.0)	—	—	—	—	—	1 (25.0)	—	3 (75.0)

注) 「つどいの広場や子育て支援センターなど」は平成21年度調査より新たに調査した項目である。

(8) 子育てに関する事業等の利用状況

子育てに関する事業等の利用状況をみると、「地域にある」ものは、「放課後児童クラブ」が67.9%で最も多く、次いで「つどいの広場や子育て支援センターなど」62.2%、「子ども会育成会」34.4%となっている。
 「地域にない」ものは、「病児・病後児保育事業」14.5%が最も多く、次いで「養育支援訪問事業」10.9%となっている。
 「利用したことがある」もので最も多いのは、「つどいの広場や子育て支援センターなど」で36.4%、次いで「放課後児童クラブ」「子ども会育成会」23.0%となっている。
 「利用したことがない」もので最も多いのは、「放課後児童クラブ」で43.2%、次いで「つどいの広場や子育て支援センターなど」で24.4%となっている。(表11)

表 1 1 子育てに関する事業等の利用状況

(平成26年)

子育てに関する事業	総数	地域にある	地域に「ある」か「ない」か			不明	不詳	
			利用したことがある	利用したことがない	不詳			
つどいの広場や子育て支援センターなど	1,237(世帯) (100.0%)	769 (62.2)	450 (36.4)	302 (24.4)	17 (1.4)	90 (7.3)	378 (30.6)	—
養育支援訪問事業	1,237(世帯) (100.0%)	153 (12.4)	42 (3.4)	107 (8.6)	4 (0.3)	135 (10.9)	949 (76.7)	—
病児・病後児保育事業	1,237(世帯) (100.0%)	322 (26.0)	34 (2.7)	277 (22.4)	11 (0.9)	179 (14.5)	736 (59.5)	—
放課後児童クラブ	1,237(世帯) (100.0%)	840 (67.9)	284 (23.0)	534 (43.2)	22 (1.8)	82 (6.6)	315 (25.5)	—
ファミリーサポートセンター	1,237(世帯) (100.0%)	340 (27.5)	41 (3.3)	283 (22.9)	16 (1.3)	122 (9.9)	775 (62.7)	—
子育てNPO	1,237(世帯) (100.0%)	154 (12.4)	20 (1.6)	123 (9.9)	11 (0.9)	127 (10.3)	956 (77.3)	—
母親クラブ	1,237(世帯) (100.0%)	149 (12.0)	41 (3.3)	103 (8.3)	5 (0.4)	126 (10.2)	962 (77.8)	—
子ども会育成会	1,237(世帯) (100.0%)	426 (34.4)	285 (23.0)	128 (10.3)	13 (1.1)	97 (7.8)	714 (57.7)	—

注) 「不明」とは、子育てに関する事業等の存在がわからない、地域に「ある」か「ない」かがわからない世帯の数値である。

(9) 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況

「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況を見ると、「やや厳しくしている」が41.9%（前回43.7%）と最も多く、「やや甘やかしている」29.0%（前回25.7%）、「どちらともいえない」18.7%（前回20.7%）となっている。
 父母別にみると、父では「やや厳しくしている」が35.3%、「やや甘やかしている」が31.8%、「どちらともいえない」が20.6%、母では「やや厳しくしている」が48.5%、「やや甘やかしている」が26.3%、「どちらともいえない」が16.8%となっている。（表12、図3-1及び図3-2）

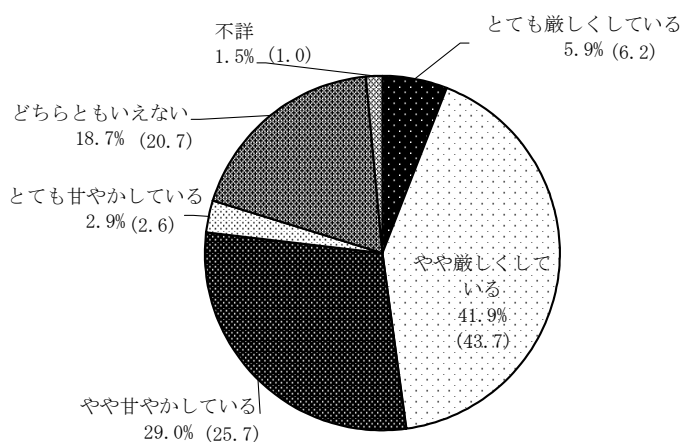
表12 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況の構成割合

(単位：%)

しつけの状況	平成 21年	平成26年		
		総数	父	母
総数	100.0	100.0	100.0	100.0
とても厳しくしている	6.2	5.9	5.8	6.1
やや厳しくしている	43.7	41.9	35.3	48.5
やや甘やかしている	25.7	29.0	31.8	26.3
とても甘やかしている	2.6	2.9	4.5	1.4
どちらともいえない	20.7	18.7	20.6	16.8
不詳	1.0	1.5	2.1	0.9

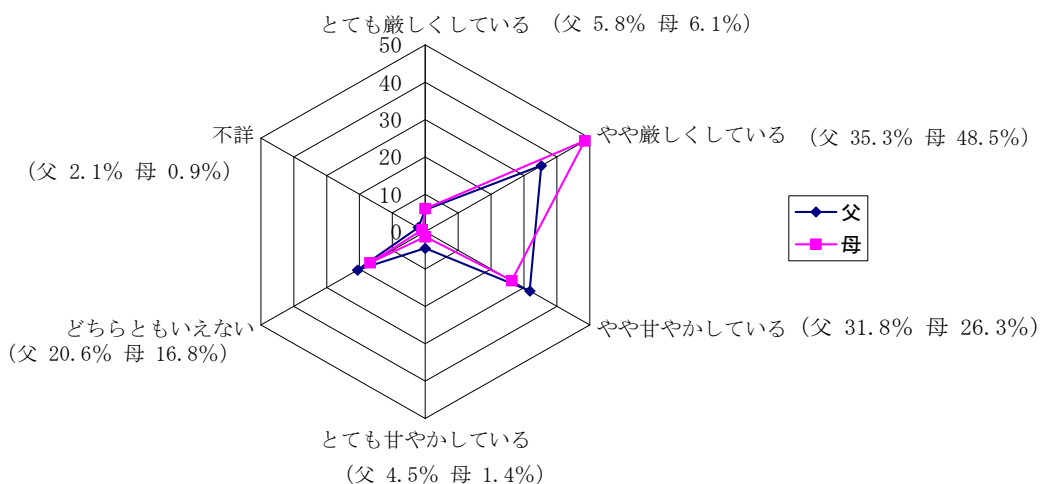
図3 「父母とも同居」している世帯の子どもたちへのしつけの状況 (平成26年)

図3-1 総数



注) 括弧内の数値は、前回調査(平成21年)の数値である。

図3-2 父母



(10) 1か月間にかかる養育費の状況（平成26年11月の1か月）

1か月間にかかる養育費の状況についてみると（平成26年11月の1か月）、「2万円未満」が53.5%（前回42.4%）と最も多く、以下「2万円～4万円未満」29.7%（前回35.1%）、「4万円～6万円未満」10.0%（前回12.3%）となっている。

学年別にみると「未就学」50.8%、「小学校1～3年生」68.4%、「小学校4～6年生」64.2%、「中学生」40.2%、「高校生等」40.5%と2万円未満が最も多くなっている。（表13及び図4）

表13 1か月間にかかる養育費の状況の構成割合

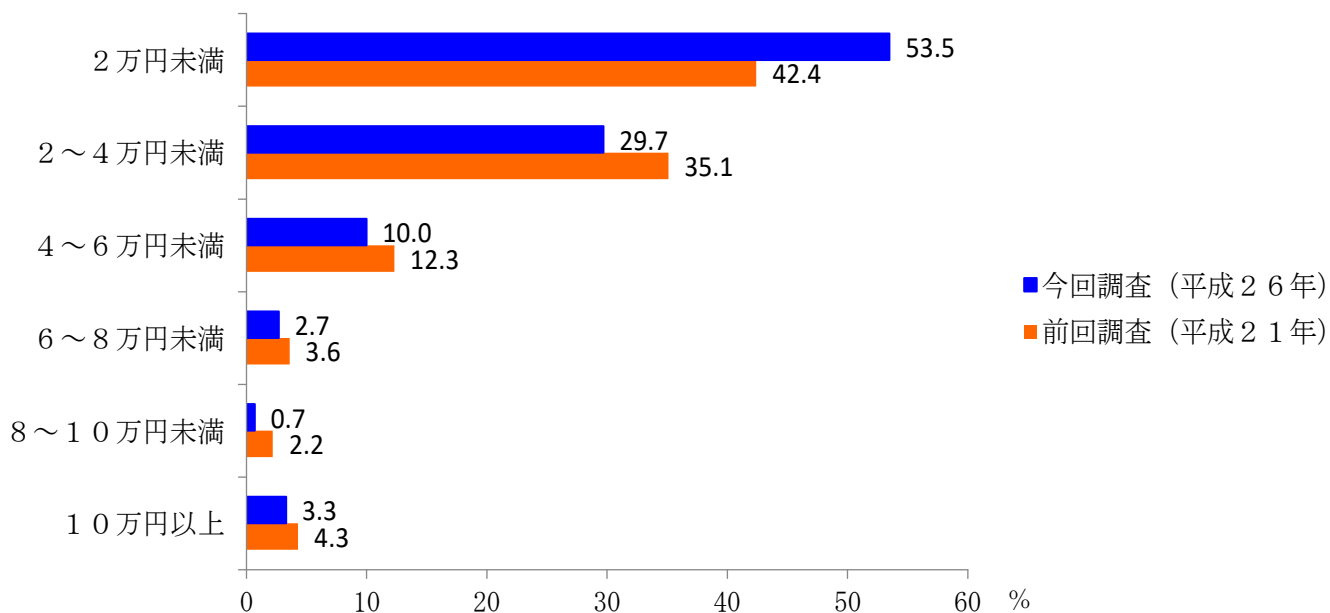
（単位：％）

（平成26年11月の1か月）

1か月間にかかる養育費	平成16年	平成21年	性・学年								
			総数	男	女	未就学	小学校1～3年生	小学校4～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2万円未満	49.5	42.4	53.5	57.6	49.2	50.8	68.4	64.2	40.2	40.5	87.5
2万円～4万円未満	30.7	35.1	29.7	26.7	32.9	33.8	24.9	26.4	35.8	26.1	—
4万円～6万円未満	11.8	12.3	10.0	8.5	11.6	11.6	4.7	3.4	13.3	18.2	—
6万円～8万円未満	3.4	3.6	2.7	3.0	2.4	1.8	0.6	1.3	4.8	6.5	12.5
8万円～10万円未満	1.2	2.2	0.7	0.9	0.6	0.3	0.0	1.6	1.0	1.4	—
10万円以上	3.5	4.3	3.3	3.3	3.3	1.7	1.5	3.1	4.8	7.2	—

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
 2. 養育費とは教育費、保育料、医療費、小遣いの合計である。それぞれの状況は、「参考表1」参照。

図4 1か月にかかる養育費の状況の構成割合



Ⅱ 18歳未満の子どもたちの状況

18歳未満の子どもたちの状況については、小学校5年生から18歳未満までの児童を客体としており、児童本人に対して回答を得た結果である。

ただし、1. 未就学児童の状況、2. 終業後のクラブ活動・塾等の状況については、保護者に回答を得た結果となっている。

1 未就学児童の状況

未就学児童の状況を見ると、「保育所」に通っている児童が40.3%（前回33.0%）と最も多く、次いで「その他」が33.3%（前回37.7%）、「幼稚園」に通っている児童が26.4%（前回29.4%）となっている。

また、「その他」を年齢各歳別にみると、「0歳」で90.6%、「1歳」で67.1%、「2歳」で55.1%、「3歳」で30.9%、「4歳」で9.7%、「5歳」で3.1%となっており、「0～2歳」で「その他」が多くなっており、「その他」の中では、「自宅・知り合いの家等」が、29.3%となっている。（表14）

表14 未就学児童の状況の構成割合

（単位：％）

年齢各歳	総 数	保 育 所	幼 稚 園	そ の 他	その他の 保育施設	
					その他の 保育施設	自宅・知り 合いの家等
平成21年	100.0	33.0	29.4	37.7	3.4	34.2
平成26年						
総 数	100.0	40.3	26.4	33.3	4.0	29.3
0 歳	100.0	9.4	・	90.6	3.1	87.5
1 歳	100.0	32.9	・	67.1	2.4	64.7
2 歳	100.0	39.3	5.6	55.1	6.7	48.3
3 歳	100.0	48.2	20.9	30.9	4.5	26.4
4 歳	100.0	48.4	41.9	9.7	4.3	5.4
5 歳	100.0	42.5	54.3	3.1	2.4	0.8
6 歳	100.0	50.6	44.2	5.2	5.2	—

注) 1. 「その他の保育施設」とは、認定こども園、事業所内保育施設、認可外保育施設などのこと。

2. 「自宅・知り合いの家等」とは、親、ベビーシッター、親類、知り合い等により、保育が行われている場合をいう。

2 終業後のクラブ活動・塾等の状況

終業後に「クラブ活動」を「している」割合を学年別にみると、「小学校1～3年生」では19.8%、「小学校4～6年生」では47.1%、「中学生」71.7%、「高校生等」68.4%となっている。

また、終業後に「塾等」へ「行っている」割合を同様にみると、「小学校1～3年生」では45.1%、「小学校4～6年生」50.8%、「中学生」61.7%、「高校生等」26.0%となっている。（表15）

表15 終業後のクラブ活動・塾等の状況の構成割合

（単位：％）

学 年	クラブ 活 動	している		塾 等	行っている	
		している	して いない		行っている	行っ ていない
平成21年	100.0	49.2	50.8	100.0	46.5	53.5
平成26年						
総 数	100.0	52.2	47.8	100.0	47.8	52.2
小学校1～3年生	100.0	19.8	80.2	100.0	45.1	54.9
小学校4～6年生	100.0	47.1	52.9	100.0	50.8	49.2
中 学 生	100.0	71.7	28.3	100.0	61.7	38.3
高 校 生 等	100.0	68.4	31.6	100.0	26.0	74.0

注) 1. 「クラブ活動」には、地域のスポーツクラブなどを含む。

2. 「塾等」とは、塾のほか、スポーツ以外の習いごと（英会話、ピアノ等）を含む。

3. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

3 帰宅時間の状況

帰宅時間の状況をみると、「午後6時前」43.5%（前回40.7%）が最も多く、「午後4時前」17.3%（前回18.3%）、「午後7時前」16.3%（前回14.9%）となっている。
 学年別にみると、「小学校5～6年生」では「午後6時前」と「午後4時前」の合計が8割以上となっており、中学生では「午後6時前」が55.5%、「午後7時前」が19.4%となっている。
 また、「決まっていない」が、「中学生」で8.2%、「高校生等」で9.2%となっている。（表16及び図5）

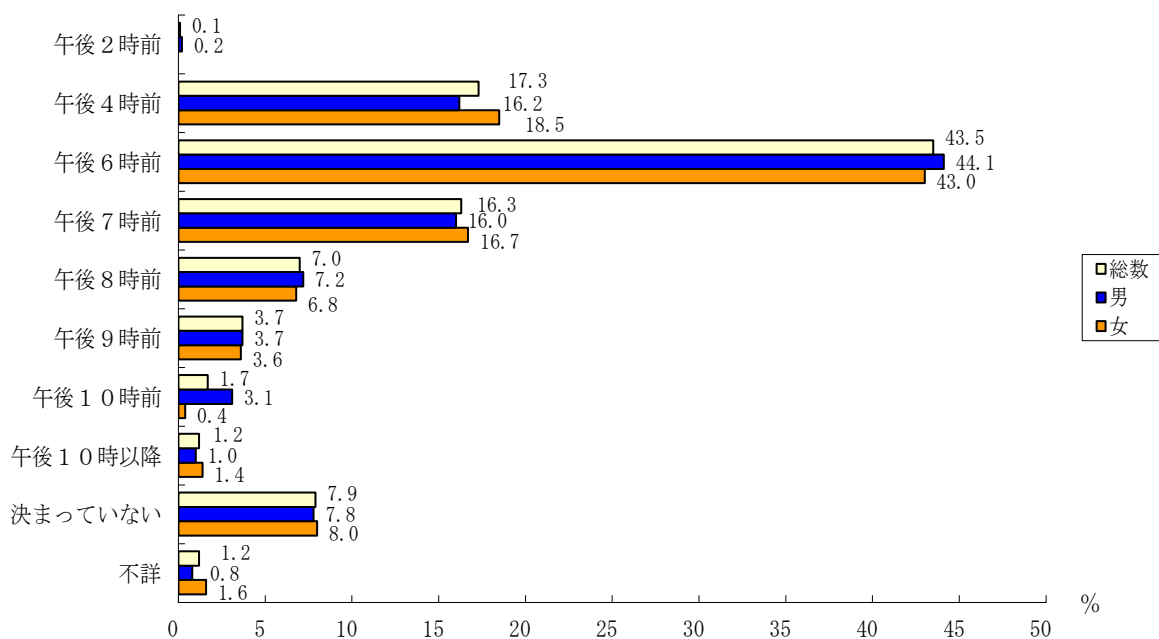
表16 帰宅時間の状況の構成割合

（単位：％）

帰宅時間	平成 21年	平成26年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
午後2時前	0.4	0.1	0.2	—	—	0.2	—	—
午後4時前	18.3	17.3	16.2	18.5	40.8	11.2	5.6	15.8
午後6時前	40.7	43.5	44.1	43.0	46.5	55.5	24.3	57.9
午後7時前	14.9	16.3	16.0	16.7	3.5	19.4	23.6	10.5
午後8時前	8.1	7.0	7.2	6.8	1.9	2.2	18.0	—
午後9時前	4.0	3.7	3.7	3.6	—	0.5	10.8	5.3
午後10時前	2.4	1.7	3.1	0.4	—	0.2	5.2	—
午後10時以降	0.9	1.2	1.0	1.4	—	1.2	2.3	—
決まっていない	8.6	7.9	7.8	8.0	6.2	8.2	9.2	5.3
不詳	1.7	1.2	0.8	1.6	1.2	1.2	1.0	5.3

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

図5 帰宅時間の状況（平成26年）



4 遊びの状況

(1) 普段、一緒によく遊ぶ友達の種類

普段、一緒によく遊ぶ友達の種類の状況をみると、「同じクラスの子」が71.9%（前回73.2%）と最も多く、次いで「違うクラスの子」45.4%（前回46.1%）、「クラブや部活で一緒の子」34.3%（前回37.1%）となっている。

学年別にみると、各学年とも「同じクラスの子」の割合が最も多く、「小学校5～6年生」では85.0%、「中学生」71.6%、「高校生等」62.0%となっている。

また、「中学生」では「同じクラスの子」に次いで、「違うクラスの子」50.7%、「クラブや部活で一緒の子」が48.0%と多くなっており、「高校生等」では「同じクラスの子」に次いで、「違うクラスの子」34.4%となっている。（表17）

表17 普段、一緒によく遊ぶ友達の種類の構成割合（複数回答）

（単位：％）

友 達 の 種 類	平 成 2 1 年	平 成 2 6 年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
同じクラスの子	73.2	71.9	71.5	72.3	85.0	71.6	62.0	57.9
違うクラスの子	46.1	45.4	44.9	46.0	51.2	50.7	34.4	31.6
違う学年の子	13.9	11.6	11.5	11.6	22.7	8.7	5.6	15.8
家の近所の子	16.0	13.6	13.5	13.7	28.1	9.2	6.6	21.1
塾やけいこ事で一緒の子	8.4	5.6	5.3	5.8	8.5	6.5	2.3	—
クラブや部活で一緒の子	37.1	34.3	34.2	34.3	13.5	48.0	34.4	26.3
前の学校や幼稚園で一緒	21.9	16.6	14.3	18.9	8.1	11.4	30.8	15.8
その他	2.3	3.1	3.5	2.8	1.9	3.7	3.6	—
特に決まっていない	7.6	8.6	10.0	7.2	6.9	9.0	9.2	15.8
自分一人で遊ぶ	0.8	1.6	2.3	1.0	0.4	2.0	2.3	—
遊ばない（遊べない）	3.2	4.8	3.7	5.8	3.1	3.7	7.2	10.5
不 詳	1.1	0.6	0.2	1.0	0.4	0.5	1.0	—

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(2) 一緒によく遊ぶ友達の人数

一緒によく遊ぶ友達の人数をみると、「4～5人」が31.7%（前回32.7%）と最も多くなっており、学年別に見ると、「小学校5～6年生」では「6人以上」が35.9%と最も多く、「中学生」は「4～5人」が33.2%、「高校生等」は、「2～3人」が30.1%と最も多くなっている。（表18）

表18 一緒によく遊ぶ友達の人数の構成割合

（単位：％）

よく遊ぶ友達の人数	平成21年	平成26年						
		性・学年						
		総数	男	女	小学校5～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1人	1.4	1.5	—	3.0	1.6	2.1	0.7	—
2～3人	25.0	28.2	22.2	34.1	26.3	27.4	30.1	41.2
4～5人	32.7	31.7	33.1	30.4	32.3	33.2	29.7	23.5
6人以上	31.9	29.9	35.1	24.8	35.9	27.4	28.3	23.5
わからない	7.7	7.5	8.7	6.3	3.6	9.0	9.4	—
不詳	1.3	1.2	0.9	1.5	0.4	0.8	1.8	11.8

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(3) 普段の遊び場

普段の遊び場についての状況を見ると、「友達の家」が59.0%（前回63.9%）と最も多く、次いで「自宅」の46.9%（前回48.5%）、「公園」35.4%（前回31.8%）、「商店街やデパート」25.5%（前回25.5%）、「ゲームセンター」19.8%（前回19.5%）、「ファミリーレストラン等」17.9%（前回17.9%）の順になっている。

学年別にみると、「小学5～6年生」では「友達の家」70.6%が最も多く、次いで「自宅」61.5%、「公園」56.3%、「中学生」では「友達の家」64.3%が最も多く、次いで「自宅」50.9%、「公園」39.0%、「高校生等」では「友達の家」41.7%が最も多く、次いで「商店街やデパート」41.3%、「ファミリーレストラン等」35.3%となっている。（表19）

表19 普段の遊び場の構成割合（複数回答）

（単位：％）

遊び場	平成21年	平成26年						
		性・学年						
		総数	男	女	小学校5～6年生	中学生	高校生等	就職・その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自宅	48.5	46.9	46.6	47.1	61.5	50.9	28.3	47.1
友達の家	63.9	59.0	62.3	55.7	70.6	64.3	41.7	52.9
公園	31.8	35.4	38.9	31.8	56.3	39.0	11.0	47.1
学校の施設など	18.0	14.3	15.7	12.8	23.0	8.3	14.5	17.6
児童館や児童センター	4.3	4.0	3.8	4.3	7.9	3.4	0.7	17.6
図書館や博物館	3.8	5.2	3.6	6.8	7.5	5.9	2.5	—
商店街やデパート	25.5	25.5	14.7	36.2	4.8	27.4	41.3	23.5
本屋やCD・DVD店	19.4	11.5	9.1	13.9	3.6	13.4	16.6	—
ゲームセンター	19.5	19.8	17.7	22.0	7.5	25.1	24.0	11.8
繁華街	6.2	5.6	3.6	7.7	—	4.9	12.0	—
ファミリーレストラン等	17.9	16.7	12.3	21.1	1.2	13.4	35.3	11.8
車のあまり通らない道路	2.6	2.9	3.6	2.1	5.2	1.8	1.4	17.6
空き地	4.4	1.6	2.3	0.9	2.8	1.6	0.4	5.9
神社やお寺	2.1	1.2	1.3	1.1	3.6	0.3	0.4	—
山や川または海岸等	2.9	2.8	3.8	1.7	1.2	3.4	2.8	11.8
不詳	2.9	3.6	3.2	4.1	3.2	2.6	5.3	5.9

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 普段友達と遊ばない（遊べない）児童は除く。

5 テレビやDVD等、電子機器の1日における使用時間について

(1) 1日のうち、テレビやDVDを見る時間

1日のうち、テレビやDVDを見る時間をみると、「1時間以上で2時間より少ない」34.5%（前回28.8%）が最も多く、次いで「2時間以上で3時間より少ない」25.9%（前回26.0%）、「3時間以上」17.3%（前回25.8%）となっている。
「ほとんど見ない」と「1時間より少ない」の合計が20.0%となっており、約8割の児童が1時間以上、テレビやDVDを見ている。（表20）

表20 1日のうち、テレビやDVDを見る時間の構成割合

（単位：％）

時 間	平成 21年	平成26年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんど見ない	6.6	5.7	6.6	4.8	2.7	5.7	8.5	—
1時間より少ない	10.7	14.3	16.8	11.8	8.8	12.9	21.3	5.3
1時間以上で2時間 より少ない	28.8	34.5	32.6	36.3	34.2	35.3	32.5	52.6
2時間以上で3時間 より少ない	26.0	25.9	25.0	26.7	30.4	25.9	23.0	10.5
3 時 間 以 上	25.8	17.3	17.2	17.5	21.2	17.9	12.8	26.3
不 詳	2.3	2.3	1.8	2.8	2.7	2.2	2.0	5.3

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(2) 1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間

1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間をみると、「ほとんど遊ばない」27.6%（前回28.1%）が最も多く、次いで「1時間より少ない」24.3%（前回22.7%）、「1時間以上で2時間より少ない」21.0%（前回21.9%）となっている。
男女別にみると、女子では「ほとんど遊ばない」が37.3%（男子17.6%）と男子に比べて多くなっている。（表21）

表21 1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間の構成割合

（単位：％）

時 間	平成 21年	平成26年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんど遊ばない	28.1	27.6	17.6	37.3	15.0	27.6	38.7	21.1
1時間より少ない	22.7	24.3	21.3	27.3	26.5	25.9	20.7	21.1
1時間以上で2時間 より少ない	21.9	21.0	25.4	16.7	30.4	16.7	19.3	10.5
2時間以上で3時間 より少ない	11.9	12.3	19.1	5.6	13.1	14.9	7.9	15.8
3 時 間 以 上	8.7	8.6	11.9	5.4	8.8	7.7	8.9	21.1
持 っ て い な い	3.8	3.1	2.0	4.2	3.5	4.2	1.6	—
不 詳	2.8	3.0	2.7	3.4	2.7	3.0	3.0	10.5

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 「ゲーム」には、家庭用ゲーム機のほか、携帯用ゲーム機も含む。

(3) 1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間

1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間をみると、「2時間以上」が25.5%（前回16.7%）と高く、次いで「1時間以上で2時間より少ない」16.5%（前回9.8%）となっている。

携帯電話・スマートフォンを「持っていない」及び「不詳」を除いた割合をみると7割を超えており、学年別にみると「小学校5～6年生」では5割を超えており、「中学生」では7割、「高校生等」では9割を超えている。（表22）

表22 1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間の構成割合

（単位：％）

時 間	平成 21年	平成26年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんど使用しない	12.1	12.8	12.1	13.5	25.4	11.9	3.6	5.3
30分より少ない	13.2	8.4	8.6	8.2	13.5	8.5	3.9	10.5
30分以上で1時間 より少ない	11.2	12.5	12.3	12.7	8.1	14.2	14.4	5.3
1時間以上で2時間 より少ない	9.8	16.5	17.0	16.1	5.4	15.4	28.2	5.3
2時間以上	16.7	25.5	24.0	26.9	5.8	21.4	46.6	42.1
持っていない	34.7	21.7	24.0	19.5	38.8	26.4	0.7	26.3
不 詳	2.3	2.6	2.0	3.2	3.1	2.2	2.6	5.3

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 「携帯電話・スマートフォンの使用時間」には、通話のほか、メール、ゲーム等も含む。

6 起床・就寝時間とテレビやDVD等、電子機器の使用時間との関係について

(1) 起床・就寝時間と1日のうち、テレビやDVDを見る時間

起床時間と1日のうち、テレビやDVDを見る時間をみると、3時間以上テレビやDVDを見る児童の場合、その他のテレビやDVDを見る時間の児童と比べ、午前6時台の起床の割合が低く、午前7時台の起床の割合が高くなっている。(表23)

就寝時間と1日のうち、テレビやDVDを見る時間をみると、3時間以上テレビやDVDを見る児童の場合、その他のテレビやDVDを見る時間の児童と比べ、深夜12時以降の就寝の割合が高くなっている。(表24)

表23 起床時間と1日のうち、テレビやDVDを見る時間の構成割合

(単位：%)

起床時間 1日のうち、 テレビやDVDを 見る時間	平成26年							
	総数	午前 6時前	午前 6時台	午前 7時台	午前 8時台	午前 9時台	午前 10時以降	不詳
総数	100.0	9.9	54.4	33.0	1.9	0.1	0.6	0.1
ほとんど見ない	100.0	23.2	55.4	16.1	3.6	—	1.8	—
1時間より少ない	100.0	11.3	54.6	31.2	2.1	—	0.7	—
1時間以上で2時間 より少ない	100.0	10.9	58.2	29.7	0.9	—	0.3	—
2時間以上で3時間 より少ない	100.0	6.7	57.6	33.7	2.0	—	—	—
3時間以上	100.0	7.0	41.5	45.6	2.9	0.6	1.8	0.6

注) 1日のうち、テレビやDVDを見る時間の不詳を除いている。

表24 就寝時間と1日のうち、テレビやDVDを見る時間の構成割合

(単位：%)

就寝時間 1日のうち、 テレビやDVDを 見る時間	平成26年							不詳
	総数	午後 8時前	午後 8時台	午後 9時台	午後 10時台	午後 11時台	深夜 12時以降	
総数	100.0	0.2	0.3	11.4	28.5	34.4	24.5	0.7
ほとんど見ない	100.0	1.8	—	7.1	12.5	46.4	32.1	—
1時間より少ない	100.0	—	0.7	9.9	23.4	39.0	26.2	0.7
1時間以上で2時間 より少ない	100.0	—	0.6	12.4	29.7	34.4	21.8	1.2
2時間以上で3時間 より少ない	100.0	0.4	—	15.7	32.9	31.4	19.2	0.4
3時間以上	100.0	—	—	5.8	28.7	31.0	33.9	0.6

注) 1日のうち、テレビやDVDを見る時間の不詳を除いている。

(2) 起床・就寝時間と1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間

起床時間と1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間をみると、3時間以上ゲームやパソコンで遊ぶ児童の場合、その他の遊ぶ時間の児童と比べ、午前6時台の起床の割合が低く、午前7時台の起床の割合が高くなっている。

(表25)

就寝時間と1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間をみると、3時間以上ゲームやパソコンで遊ぶ児童の場合、その他の遊ぶ時間の児童と比べ、深夜12時以降の就寝の割合が高くなっている。(表26)

表25 起床時間と1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間の構成割合

(単位：%)

起床時間 1日のうち、 ゲームやパソコン で遊ぶ時間	平成26年							
	総数	午前 6時前	午前 6時台	午前 7時台	午前 8時台	午前 9時台	午前 10時以降	不詳
総数	100.0	9.9	54.4	33.1	1.9	0.1	0.6	—
ほとんど遊ばない	100.0	14.0	53.3	30.5	1.8	—	0.4	—
1時間より少ない	100.0	9.6	59.6	29.2	1.7	—	—	—
1時間以上で2時間 より少ない	100.0	8.7	59.9	28.5	1.4	0.5	1.0	—
2時間以上で3時間 より少ない	100.0	9.1	43.0	46.3	1.7	—	—	—
3時間以上 持っていない	100.0	4.7	41.2	47.1	3.5	—	3.5	—
持っていない	100.0	3.2	67.7	25.8	3.2	—	—	—

注) 1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間の不詳を除いている。

表26 就寝時間と1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間の構成割合

(単位：%)

就寝時間 1日のうち、 ゲームやパソコン で遊ぶ時間	平成26年							
	総数	午後 8時前	午後 8時台	午後 9時台	午後 10時台	午後 11時台	深夜 12時以降	不詳
総数	100.0	0.2	0.3	11.5	28.6	34.4	24.5	0.5
ほとんど遊ばない	100.0	0.4	0.7	5.1	24.3	39.3	29.4	0.7
1時間より少ない	100.0	—	0.4	12.5	32.1	35.8	18.8	0.4
1時間以上で2時間 より少ない	100.0	—	—	19.8	29.5	29.0	21.3	0.5
2時間以上で3時間 より少ない	100.0	—	—	7.4	33.9	36.4	21.5	0.8
3時間以上 持っていない	100.0	1.2	—	10.6	21.2	27.1	40.0	—
持っていない	100.0	—	—	22.6	32.3	29.0	16.1	—

注) 1日のうち、ゲームやパソコンで遊ぶ時間の不詳を除いている。

(3) 起床・就寝時間と1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間

起床時間と1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間をみると、2時間以上携帯電話・スマートフォンを使用する児童の場合、その他の使用時間の児童と比べ、午前6時台の起床の割合が低く、午前7時台の起床の割合が高くなっている。(表27)

就寝時間と1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間をみると、2時間以上携帯電話・スマートフォンを使用する児童の場合、その他の使用時間の児童と比べ、深夜12時以降の就寝の割合が高くなっている。(表28)

表27 起床時間と1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間の構成割合

(単位：%)

1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間	起床時間	平成26年							
		総数	午前6時前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時台	午前10時以降	不詳
総数		100.0	9.9	54.3	33.1	1.9	0.1	0.6	0.1
ほとんど使用しない		100.0	9.5	59.5	29.4	1.6	—	—	—
30分より少ない		100.0	10.8	51.8	34.9	2.4	—	—	—
30分以上で1時間より少ない		100.0	21.1	54.5	24.4	—	—	—	—
1時間以上で2時間より少ない		100.0	9.2	55.2	33.7	1.8	—	—	—
2時間以上持っていない		100.0	7.6	46.6	38.6	4.0	0.4	2.4	0.4
持っていない		100.0	6.5	60.3	32.7	0.5	—	—	—

注) 1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間の不詳を除いている。

表28 就寝時間と1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間の構成割合

(単位：%)

1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間	就寝時間	平成26年							
		総数	午後8時前	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時台	深夜12時以降	不詳
総数		100.0	0.2	0.3	11.5	28.4	34.4	24.6	0.6
ほとんど使用しない		100.0	0.8	0.8	23.0	39.7	27.0	6.3	2.4
30分より少ない		100.0	—	—	10.8	44.6	26.5	18.1	—
30分以上で1時間より少ない		100.0	—	—	7.3	23.6	42.3	26.0	0.8
1時間以上で2時間より少ない		100.0	—	—	3.7	19.6	49.1	27.0	0.6
2時間以上持っていない		100.0	—	0.4	2.0	17.5	34.7	45.0	0.4
持っていない		100.0	0.5	0.5	24.3	37.9	25.7	11.2	—

注) 1日のうち、携帯電話・スマートフォンを使用する時間の不詳を除いている。

7 不安や悩み、しつけの状況

(1) 現在持っている不安や悩み

現在持っている不安や悩みの状況をみると、何らかの不安や悩みを抱えている児童は、56.0%（前回79.6%）となっており、「不安や悩みがある」と答えた者の不安や悩みの内容をみると、「自分の勉強や進路について」が77.7%（前回63.2%）と最も多く、次いで「自分の性格や癖について」36.2%（前回31.7%）、「自分の顔や体形について」33.0%（前回32.4%）となっている。

また、学年別にみると、学年が上がるにつれて不安や悩みを持つ割合が多くなっているが、特に「自分の勉強や進路について」は、「中学生」では85.5%、「高校生等」では84.7%と最も多くなっている。（表29）

表29 現在持っている不安や悩みの構成割合（複数回答）

（単位：％）

不安や悩みの種類	平成 21年	平成26年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
不安や悩みがない	20.4	44.0	52.3	35.9	56.2	41.5	37.7	31.6
不安や悩みがある	(100.0) 79.6	(100.0) 56.0	(100.0) 47.7	(100.0) 64.1	(100.0) 43.8	(100.0) 58.5	(100.0) 62.3	(100.0) 68.4
自分の健康について	(15.1) 12.0	(16.8) 9.4	(15.0) 7.2	(18.2) 11.6	(19.3) 8.5	(14.9) 8.7	(17.9) 11.1	(15.4) 10.5
自分の顔や体形について	(32.4) 25.8	(33.0) 18.5	(19.3) 9.2	(42.9) 27.5	(24.6) 10.8	(31.9) 18.7	(38.4) 23.9	(46.2) 31.6
自分の勉強や進路について	(63.2) 50.3	(77.7) 43.5	(73.4) 35.0	(80.9) 51.8	(52.6) 23.1	(85.5) 50.0	(84.7) 52.8	(53.8) 36.8
自分の性格や癖について	(31.7) 25.2	(36.2) 20.3	(34.3) 16.4	(37.6) 24.1	(38.6) 16.9	(31.1) 18.2	(39.5) 24.6	(61.5) 42.1
いじめについて	(10.9) 8.7	(8.0) 4.5	(7.7) 3.7	(8.2) 5.2	(15.8) 6.9	(5.5) 3.2	(5.3) 3.3	(23.1) 15.8
自分の友達について	(18.9) 15.0	(20.8) 11.7	(11.2) 5.3	(27.9) 17.9	(26.3) 11.5	(17.9) 10.4	(21.1) 13.1	(23.1) 15.8
自分の性の問題について	(3.5) 2.8	(2.2) 1.2	(3.0) 1.4	(1.6) 1.0	(—) —	(3.0) 1.7	(2.6) 1.6	(—) —
ボーイ（ガール）フレンドについて	(9.8) 7.8	(7.2) 4.1	(7.7) 3.7	(6.9) 4.4	(4.4) 1.9	(6.4) 3.7	(10.0) 6.2	(7.7) 5.3
自分の家庭の問題について	(11.2) 8.9	(10.0) 5.6	(10.3) 4.9	(9.7) 6.2	(5.3) 2.3	(12.3) 7.2	(8.4) 5.2	(30.8) 21.1
学校生活について	(20.7) 16.5	(17.8) 9.9	(19.3) 9.2	(16.6) 10.6	(15.8) 6.9	(18.3) 10.7	(18.9) 11.8	(7.7) 5.3
その他	(0.9) 0.7	(1.8) 1.0	(2.1) 1.0	(1.6) 1.0	(3.5) 1.5	(1.3) 0.7	(1.6) 1.0	(—) —

注) 1. 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。
2. 括弧内の数値は、「不安や悩みがある」と回答した者を100%とした構成割合である。（複数回答）

(2) 現在持っている不安や悩みの相談相手

現在持っている不安や悩みの相談相手を見ると、「親に相談する」が58.8%（前回30.2%）と最も多く、次いで「友達に相談する」37.5%（前回21.6%）、「自分でよく考えて解決に向けて努力する」26.6%（前回17.0%）となっており、「親に相談する」では、「自分の健康について」83.9%が最も多く、次いで「自分の勉強や進路について」が70.2%、「いじめについて」が68.2%となっている。（表30）

表30 現在持っている不安や悩みの相談相手の構成割合
（不安や悩みのある場合、3つまで回答）

（単位：％）

不安や悩みの種類	総数	親に相談する	兄弟（姉妹）に相談する	親戚の人に相談する	先生に相談する	友達に相談する	インターネットで第三者に相談する	自分でよく考えて解決に向けて努力する	その他	相談相手はいない	不詳
（平成21年） 総数	100.0	30.2	7.8	1.3	10.6	21.6	1.0	17.0	1.6	6.4	2.5
（平成26年） 総数	100.0	58.8	10.7	1.3	22.4	37.5	2.6	26.6	4.1	9.9	5.3
自分の健康について	100.0	83.9	9.7	1.1	14.0	20.4	6.5	21.5	8.6	7.5	4.3
自分の顔や体形について	100.0	56.6	13.7	—	2.2	30.8	2.2	32.4	2.2	15.4	4.9
自分の勉強や進路について	100.0	70.2	11.2	2.3	44.8	40.8	1.2	24.5	3.7	3.7	5.4
自分の性格や癖について	100.0	43.0	10.0	1.0	7.0	38.5	2.5	33.0	4.0	13.0	6.5
いじめについて	100.0	68.2	9.1	2.3	34.1	29.5	4.5	22.7	6.8	15.9	4.5
自分の友達について	100.0	51.3	8.7	0.9	13.9	49.6	2.6	28.7	3.5	8.7	4.3
自分の性の問題について	100.0	8.3	—	—	16.7	16.7	8.3	16.7	8.3	25.0	16.7
ボーイ（ガール）フレンドについて	100.0	27.5	2.5	—	2.5	60.0	—	27.5	5.0	12.5	2.5
自分の家庭の問題について	100.0	41.8	14.5	—	9.1	21.8	1.8	18.2	—	23.6	5.5
学校生活について	100.0	55.1	11.2	1.0	23.5	40.8	5.1	21.4	6.1	9.2	5.1
その他	100.0	50.0	10.0	—	10.0	40.0	10.0	30.0	—	20.0	10.0

(3) 父母のしつけについてどう思っているかの状況

父母のしつけについてどう思っているかの状況を見ると、父では「どちらともいえない」が23.9%（前回26.3%）と最も多く、次いで「やや厳しいと思う」が23.0%（前回23.2%）、「やや甘いと思う」が17.4%（前回14.2%）となっている。

また、母では「やや厳しいと思う」が31.0%（前回28.3%）と最も多く、次いで「どちらともいえない」が26.6%（前回27.0%）、「やや甘いと思う」が17.4%（前回14.8%）となっている。（表31）

表31 父母のしつけについてどう思っているかの構成割合

(単位：%)

父 母 の し つ け	平 成 21年	平 成 2 6 年						
		性・学年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
父 総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ととも厳しいと思う	6.9	5.7	6.1	5.2	7.7	6.2	2.6	15.8
やや厳しいと思う	23.2	23.0	24.2	21.9	33.1	21.1	16.1	36.8
やや甘いと思う	14.2	17.4	13.7	21.1	15.4	19.4	17.4	5.3
とても甘いと思う	4.7	4.1	3.3	4.8	5.4	4.2	3.0	—
どちらともいえない	26.3	23.9	26.4	21.5	19.2	21.1	32.8	5.3
わからない	15.4	15.7	17.2	14.3	10.4	17.2	18.4	15.8
お父さんはいない	7.2	8.6	8.0	9.2	8.1	8.7	8.2	21.1
不 詳	2.0	1.5	1.0	2.0	0.8	2.0	1.6	—
母 総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ととも厳しいと思う	9.5	6.6	7.0	6.2	10.0	7.2	2.6	10.5
やや厳しいと思う	28.3	31.0	28.3	33.7	37.3	32.6	23.6	31.6
やや甘いと思う	14.8	17.4	16.6	18.3	19.6	14.9	18.7	21.1
とても甘いと思う	3.2	3.0	3.5	2.6	3.1	2.7	3.3	5.3
どちらともいえない	27.0	26.6	27.5	25.7	20.4	25.6	33.4	21.1
わからない	13.5	12.7	14.8	10.6	7.7	13.9	15.4	10.5
お母さんはいない	2.2	1.1	1.6	0.6	0.8	1.2	1.3	—
不 詳	1.5	1.5	0.8	2.2	1.2	1.7	1.6	—

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

8 大切なことと思うこと

大切なことと思うことの状態をみると、「健康であること」が59.7%（前回61.3%）と最も多く、次いで「友達がたくさんいること」50.6%（前回58.1%）、「将来に夢を持っていること」46.0%（前回44.6%）となっている。

性別でみると、男子では「健康であること」が56.6%と最も多く、次いで「友達がたくさんいること」が52.9%となっており、女子でも、「健康であること」が62.9%と最も多く、次いで「友達がたくさんいること」が48.4%となっている。

また、学年別にみても、「友達がたくさんいること」、「健康であること」が同様に多くなっている。（表32）

表32 大切なことと思うことの構成割合（3つまで回答）

（単位：％）

大切なこと	平成 21年	平成26年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
勉強ができること	25.2	36.2	36.3	36.1	38.5	44.0	24.6	26.3
いろんなことを知っていること	16.8	20.3	22.1	18.5	11.5	21.1	26.2	26.3
お金がたくさんあること	15.9	17.1	20.3	14.1	10.8	18.9	20.3	15.8
友達がたくさんいること	58.1	50.6	52.9	48.4	58.5	51.7	42.6	47.4
健康であること	61.3	59.7	56.6	62.9	62.7	55.0	63.0	68.4
将来に夢を持っていること	44.6	46.0	44.5	47.6	49.2	42.3	49.5	26.3
運動や歌などで、何か得意なもの（特技）があること	28.0	26.7	28.1	25.3	25.4	28.1	26.2	21.1
人の嫌がることをすすんでやること	9.0	8.5	8.0	9.0	5.4	7.0	13.4	5.3
勇気を持っていること	31.8	29.1	26.2	31.9	33.1	27.4	26.9	47.4
不詳	9.3	5.7	5.1	6.2	5.0	4.5	7.2	15.8

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

9 困っている人に出会ったときの対応

（1）電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていたときの対応

電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていたときの対応をみると、「声をかけて、席をゆずる」が56.9%（前回58.9%）と最も多くなっており、女子では61.2%と男子52.6%に比べて多くなっている。

また、学年別では、「声をかけて、席をゆずる」が「小学校5～6年生」では6割以上なのに対し、「中学生」56.4%、「高校生等」53.5%となっており、約5割となっている。（表33）

表33 電車やバスに乗っていて、自分が座っている席の近くに、お年寄りや体の不自由な人が立っていたときの対応の構成割合

（単位：％）

対 応	平成 21年	平成26年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
声をかけて、席をゆずる	58.9	56.9	52.6	61.2	61.2	56.4	53.5	63.2
黙って席を立ち、他へ行く	28.1	29.5	32.2	26.9	22.1	31.2	33.6	31.6
何となく恥ずかしいのでそのままにいる	9.4	10.1	10.5	9.6	13.2	8.3	10.0	5.3
別に何とも思わない	3.5	3.5	4.7	2.2	3.5	4.0	3.0	—

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(2) 遊園地で迷子を見かけたときの対応

遊園地で迷子を見かけたときの対応をみると、「自分の家族や係の人のところへ連れていく」が49.5%（前回43.2%）と最も多くなっており、特に女子では53.3%と男子45.7%に比べて多くなっている。性別でみると、男子では「知らないふりで、通りすぎる」が14.0%と女子5.9%に比べて多くなっている。また、学年別では、「中学生」「高校生等」で「気になって、しばらく遠くから見ている」が多くなっている。（表34）

表34 遊園地で迷子を見かけたときの対応の構成割合

（単位：％）

対 応	平成 21年	平成26年						
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
自分の家族や係の人のところへ連れていく	43.2	49.5	45.7	53.3	55.6	48.1	46.5	42.1
その子の家族が来るまで一緒にいてあげる	10.6	10.3	9.5	11.0	9.3	9.8	11.6	10.5
気になって、しばらく遠くから見ている	33.9	30.3	30.8	29.8	23.3	33.2	32.2	31.6
知らないふりで、通りすぎる	12.3	10.0	14.0	5.9	11.7	8.8	9.6	15.8

注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

(3) クラスの誰かが他の子をいじめているのを見たときの対応

クラスの誰かが他の子をいじめているのを見たときの対応をみると、「友達に相談する」が36.5%（前回36.4%）と最も多くなっており、次いで「先生に知らせる」34.1%（前回25.7%）となっている。性別でみると、男子では「別に何もしない」が21.7%と女子6.6%に比べて多くなっており、女子では「友達に相談する」が44.3%と男子28.5%に比べて多くなっている。また、学年別では、「小学生」では「先生に知らせる」が49.4%、「中学生」では「友達に相談する」が39.5%、「高校生等」では46.6%と多くなっている。（表35）

表35 クラスの誰かが他の子をいじめているのを見たときの対応の構成割合

（単位：％）

対 応	平成 21年	平成26年					
		総 数	男	女	小 学 校 5～6年生	中学生	高校生等
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
「やめろ！」と言って止めようとする	16.9	15.3	17.3	13.4	23.3	11.3	14.2
先生に知らせる	25.7	34.1	32.5	35.7	49.4	35.0	19.3
友達に相談する	36.4	36.5	28.5	44.3	19.8	39.5	46.6
別に何もしない	21.0	14.1	21.7	6.6	7.4	14.1	19.9

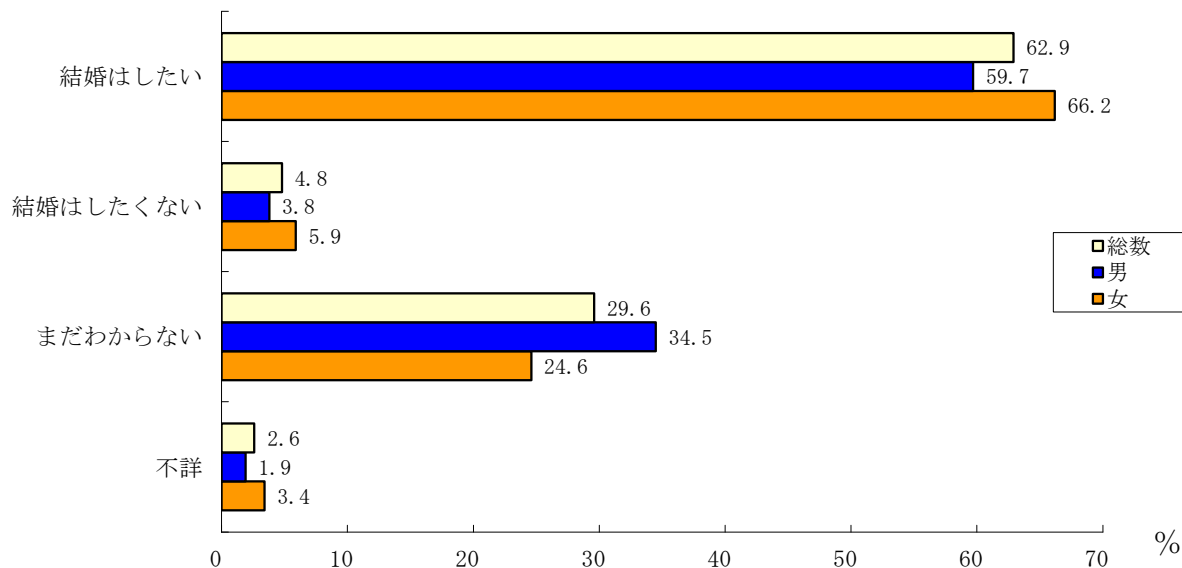
注）「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

10 自分の将来と今、幸せだと思うかどうかについての状況（中学生以上）

（1）将来、結婚をしたいと思っているか（中学生以上）

将来、結婚をしたいと思っているかの状況を見ると、「結婚はしたい」が62.9%となっており、性別で見ると、男子では59.7%、女子では66.2%と男子に比べ多くなっている。（図6）

図6 将来、結婚をしたいと思っているか（平成26年）

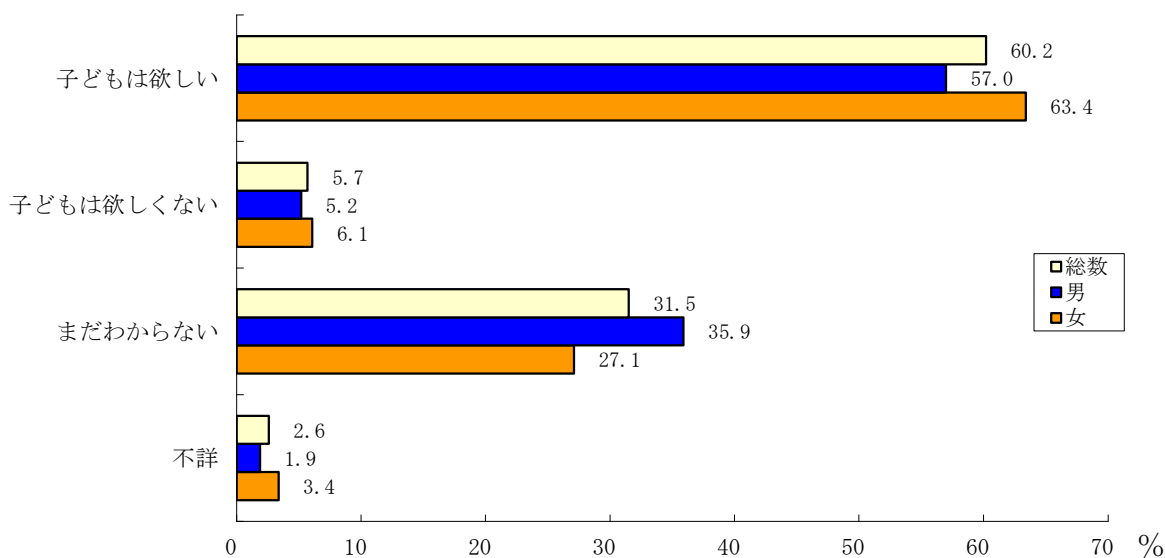


注）性・学年別は、「参考表2 将来、結婚をしたいと思っているか、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）」参照。

（2）将来、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）

将来、子どもを欲しいと思っているかの状況を見ると、「子どもは欲しい」が60.2%となっており、性別で見ると、男子では57.0%、女子では63.4%と男子に比べ多くなっている。（図7）

図7 将来、子どもを欲しいと思うか（平成26年）



注）性・学年別は、「参考表2 将来、結婚をしたいと思っているか、子どもを欲しいと思うか（中学生以上）」参照。

(3) 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）の状況

今、幸せだと思うかどうかの状況をみると、「とても幸せだと思う」が46.8%（前回44.5%）と最も多くなっており、「やや幸せだと思う」の34.0%（前回32.7%）と合計すると、8割以上が幸せであると感じている。性別でみると、「とても幸せだと思う」は男子が40.4%、女子では53.0%と男子に比べて多くなっている。（表36及び図8）

表36 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）の構成割合

（単位：％）

幸せだと思うかどうか	平成 21年	平成26年						
		総数	男	女	小学校 5～6年生	中学生	高校生等	就職・ その他
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
とても幸せだと思う	44.5	46.8	40.4	53.0	58.5	47.0	36.7	42.1
やや幸せだと思う	32.7	34.0	36.3	31.7	28.8	34.3	38.7	21.1
あまり幸せだと思わない	3.6	3.5	3.7	3.4	1.9	4.0	4.6	—
まったく幸せだと思わない	1.2	0.9	1.0	0.8	0.4	0.5	2.0	—
どちらともいえない	6.2	4.9	7.0	2.8	0.8	5.2	7.9	5.3
わからない	7.1	5.6	7.0	4.2	4.6	5.2	5.9	21.1
不詳	4.6	4.4	4.7	4.0	5.0	3.7	4.3	10.5

注) 「高校生等」とは「高校生」、「各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒」の合計である。

図8 今、幸せだと思うかどうか（幸せ感）（平成26年）

